

季節を感じる掲示物で学校生活を楽しく

校舎内のろう下には、いろんな掲示物があります。各種団体から送られてくるポスターでは、お勧めの本の紹介や健康管理といった身近な内容、オリンピック・パラリンピックやSDGsといった注目されている話題と様々です。

ポスターの他には、児童や先生が手作りした掲示物がたくさんあります。

3年生のろう下には、「1学期のめあて」が掲示されています。学習面と生活面のがんばりたいこととして、「かかりのしごとを、わすれずしっかりやる」「あそぶまえにしゅくたいをする」などと書いてありました。

4年生のろう下には、「ヘチマ」の観察記録が掲示されています。絵と文字で、ヘチマの種や植え方について詳しく説明されています。掲示用の透明ファイルに観察シートを差し込めるようになっているため、ヘチマの生長に合わせて観察シートを増やしていただけます。

2年生は、ミニトマトを観察した「見つけたよカード」を掲示しています。「大きさはふでばこをたてたぐらいで、においはトマトのにおいです」と身近な物や知っていることと比較した内容がありました。

6年生のろう下には、国語の学習で自作した俳句が掲示されています。「足羽川 舞っている桜がきれいだな」「道見れば 春の花々いきている」など、春の息吹を感じる素敵な俳句ばかりです。

給食室の近くには、栄養の先生が担当する「食育けいじばん」があります。朝ご飯の大切さや給食のメニューを説明して、月ごとに内容が変わります。

ろう下に掲示された作品から友達の頑張りが見えたり、学習内容を振り返ったりできます。これから、季節や行事、学校での取り組みによって掲示物が変わります。時節を感じながら学校生活が楽しくなるよう工夫して掲示していきます。

